



平成 28 年 12 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 28 年 4 月 28 日

上場会社名 株式会社ペッパーフードサービス 上場取引所 東
 コード番号 3053 URL <http://www.pepper-fs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 一瀬 邦夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事部長 (氏名) 猿山 博人 (TEL) 03 (3829) 3210
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 4 月 28 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 12 月期第 1 四半期の業績 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 12 月期第 1 四半期	4,958	56.6	199	88.9	199	90.6	91	73.6
27 年 12 月期第 1 四半期	3,166	84.8	105	82.3	104	83.8	52	37.5

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 12 月期第 1 四半期	9.38	9.31
27 年 12 月期第 1 四半期	5.94	5.82

(注) 平成 27 年 7 月 1 日効力発生日として 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 12 月期第 1 四半期	7,073	2,332	32.9
27 年 12 月期	6,708	2,338	34.8

(参考) 自己資本 28 年 12 月期第 1 四半期 2,328 百万円 27 年 12 月期 2,334 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 12 月期	—	15.00	—	10.00	—
28 年 12 月期	—	—	—	—	—
28 年 12 月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成 27 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っており、平成 27 年 12 月期第 2 四半期末実績につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成 28 年 12 月期の業績予想 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	10,511	53.2	399	90.2	397	87.8	192	114.6	19.66
通期	23,200	43.2	937	23.1	928	22.0	488	18.6	49.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期1Q	9,765,600株	27年12月期	9,755,100株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

28年12月期1Q	63株	27年12月期	63株
-----------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	9,759,092株	27年12月期1Q	9,342,653株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 業績の状況	3
(2) 財政状態の分析	3
(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題	3
(4) 研究開発活動	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などが見られ、訪日外国人の増加に伴うインバウンド消費の恩恵もあり、景気は緩やかな景気回復基調が続きました。しかしながら、食料品等の物価上昇から、生活防衛意識が高まりを見せており、消費基調は楽観視できない状況で推移しております。

外食産業におきましては、引き続き人手不足の影響による人件費の増加や円安による原材料価格の高騰等の問題が深刻化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社は「従業員に夢と希望を与え、お客様ご満足の最大化」を基本方針として、年間60店舗出店を目標にペッパーランチ業態及びいきなり！ステーキ業態の出店拡大に取り組むと共に、引き続きお客様への安心・安全な商品提供ができる体制強化に努めてまいりました。原材料価格の高騰により3月から一部商品の値上げを行ったものの、それを補う価値ある商品の提供により売上は好調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高4,958百万円(前年同期比56.6%増)、営業利益199百万円(前年同期比88.9%増)、経常利益199百万円(前年同期比90.6%増)、四半期純利益91百万円(前年同期比73.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① ペッパーランチ事業

ペッパーランチ事業につきましては、年間20店舗出店を目標にスタートが切られ、1月に「今ならおひとつ！トッピング無料キャンペーン」、(1/29～3/10)2月に「香港懸賞旅行キャンペーン」(1/29～3/31)を行い売上並びに利益の向上に努め、3月にはF Cショーへ出展(3/9～3/11)し、加盟の促進を図ってまいりました。また、平成24年11月から平成28年3月まで41ヵ月連続で既存店昨年対比100%超えを達成しております。

海外におけるペッパーランチ事業では、各店舗の売上は、引き続き好調に推移しており、新規出店に伴う機器等の売却、ロイヤリティ収入などの売上高は73百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,294百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は224百万円(前年同期比7.0%増)となりました。また、新規出店数は12店舗(うち海外10店舗)であり、ペッパーランチ事業全体の店舗数は355店舗となりました。

② レストラン事業

レストラン事業につきましては、既存店の売上並びに利益の向上に努めてまいりました。また、ステーキ業態「炭焼ステーキくに」では、月に1回行われている異業種交流会「美味しいステーキを楽しく食べるタベ」の継続的な開催により、ブランドイメージの向上を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は566百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は33百万円(前年同期比35.4%増)となりました。レストラン事業全体の店舗数は24店舗となっております。

③ いきなり！ステーキ事業

いきなり！ステーキ事業につきましては、年間40店舗出店を目標にスタートが切られ、1月に実践人材教育の場として本社3階に研修センター店がオープンいたしました。販売施策としては、1月に「新春宝くじキャンペーン(1/1～1/31)」、2月に「10店舗廻ると10万円が当たるスタンプラリーキャンペーン」(2/15～4/15)を行いました。前期よりチャージ機能を追加した肉マイレージカードは、2月から「(2/9と毎月29日)チャージボーナス3倍(2/29は5倍)キャンペーン(通常チャージ額3,000円以上で90円、5,000円以上で300円、10,000円以上で900円追加付与)」を開始し、お客様からの好評価を頂くことが出来ました。3月に原材料の高騰に伴う、一部商品の値上げを実施いたしました。チャージボーナス3倍キャンペーン(3/1～4/15)の実施、一部店舗を除き、椅子席の設置や、個店別メニューの導入により値上げ後の売上も好調に推移いたしました。また、肉マイレージカードの最上ランクカード(累積肉量100kg以上)のダイヤモンドカードを3月から導入し、肉マイレージカードの価値を更にアップさせました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は3,086百万円(前年同期比123.6%増)、営業利益は190百万円(前年同期比146.8%増)となりました。また、新規出店数は5店舗であり、いきなり！ステーキ事業全体の店舗数は82店舗となっております。

④ 商品販売事業

商品販売事業につきましては、「とんかつソース」、「冷凍ペッパーライス」及び「冷凍ハンバーグ」の販売において新規顧客の獲得目指し、ネット販売を中心に行ってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は10百万円(前年同期比19.1%増)、営業損失は1百万円(前年同期は0百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて364百万円増加し7,073百万円になりました。これは主に、現金及び預金が282百万円増加したこと、売掛金が20百万円減少したこと、未収入金(流動資産・その他)が103百万円減少したこと、建物(純額)が107百万円増加したこと並びに敷金及び保証金が18百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べて370百万円増加し、4,741百万円となりました。これは主に、買掛金が85百万円増加したこと、短期借入金が136百万円増加したこと、未払金が63百万円増加したこと及び未払法人税等が62百万円減少したこと、賞与引当金が24百万円増加したこと、預り金(流動負債・その他)が35百万円増加したこと及び長期借入金が52百万円増加したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて6百万円減少し、2,332百万円となりました。これは主に、四半期純利益を91百万円計上したこと及び配当により、剰余金を97百万円処分したことにより利益剰余金が6百万円減少したこと、新株予約権の行使に伴い資本金、資本準備金がそれぞれ1百万円増加したこと並びにその他有価証券評価差額金が3百万円減少したことによるものです。また、自己資本比率は前事業年度末から1.9ポイント減少し、32.9%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,635	1,923,494
売掛金	705,145	685,110
商品	118,907	104,535
貯蔵品	20,529	19,488
繰延税金資産	31,162	38,133
その他	484,987	414,196
貸倒引当金	△702	△541
流動資産合計	3,000,665	3,184,416
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,433,795	2,577,446
減価償却累計額	△473,916	△509,839
建物(純額)	1,959,878	2,067,606
その他	899,026	975,518
減価償却累計額	△490,188	△515,251
その他(純額)	408,838	460,266
有形固定資産合計	2,368,716	2,527,873
無形固定資産	63,470	60,863
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,169,772	1,188,480
その他	117,732	123,494
貸倒引当金	△11,438	△11,599
投資その他の資産合計	1,276,066	1,300,375
固定資産合計	3,708,253	3,889,112
資産合計	6,708,918	7,073,529

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,863,284	1,948,966
短期借入金	27,000	163,500
1年内返済予定の長期借入金	443,324	423,968
未払金	408,211	471,593
未払法人税等	180,525	118,473
賞与引当金	—	24,999
役員賞与引当金	2,900	—
資産除去債務	9,758	1,295
その他	483,048	565,147
流動負債合計	3,418,052	3,717,943
固定負債		
長期借入金	432,513	484,981
受入保証金	385,577	397,475
繰延税金負債	12,975	2,692
資産除去債務	118,932	136,122
その他	2,409	1,927
固定負債合計	952,408	1,023,199
負債合計	4,370,460	4,741,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,254,340	1,255,836
資本剰余金	534,853	536,349
利益剰余金	544,904	538,859
自己株式	△62	△62
株主資本合計	2,334,035	2,330,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100	△2,908
評価・換算差額等合計	100	△2,908
新株予約権	4,321	4,311
純資産合計	2,338,457	2,332,385
負債純資産合計	6,708,918	7,073,529

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	3,166,299	4,958,302
売上原価	1,729,206	2,840,477
売上総利益	1,437,093	2,117,824
販売費及び一般管理費	1,331,281	1,917,952
営業利益	105,811	199,872
営業外収益		
受取利息	69	117
受取配当金	—	32
受取賃貸料	1,297	892
協賛金収入	984	3,152
受取補償金	—	4,606
その他	1,631	958
営業外収益合計	3,982	9,760
営業外費用		
支払利息	2,228	2,409
社債利息	123	—
減価償却費	344	235
為替差損	1,743	2,546
資金調達費用	—	1,000
盗難損失	—	3,704
その他	842	494
営業外費用合計	5,283	10,392
経常利益	104,510	199,240
特別利益		
新株予約権戻入益	17	—
有形固定資産売却益	—	30
特別利益合計	17	30
特別損失		
固定資産除却損	225	6,399
特別損失合計	225	6,399
税引前四半期純利益	104,301	192,872
法人税、住民税及び事業税	18,629	118,572
法人税等調整額	32,971	△17,206
法人税等合計	51,600	101,366
四半期純利益	52,700	91,505

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月25日 定時株主総会	普通株式	59,088	20.00	平成26年12月31日	平成27年3月26日	利益剰余金

(注) 平成27年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。1株当たりの配当額は株式分割前の実際の配当額を記載しております。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月29日 定時株主総会	普通株式	97,550	10.00	平成27年12月31日	平成28年3月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	1,227,782	548,892	1,380,624	9,000	3,166,299	—	3,166,299
計	1,227,782	548,892	1,380,624	9,000	3,166,299	—	3,166,299
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	209,748	25,008	77,008	△625	311,140	△205,328	105,811

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△205,328千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	1,294,641	566,402	3,086,539	10,718	4,958,302	—	4,958,302
計	1,294,641	566,402	3,086,539	10,718	4,958,302	—	4,958,302
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	224,528	33,859	190,087	△1,843	446,632	△246,760	199,872

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△246,760千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。